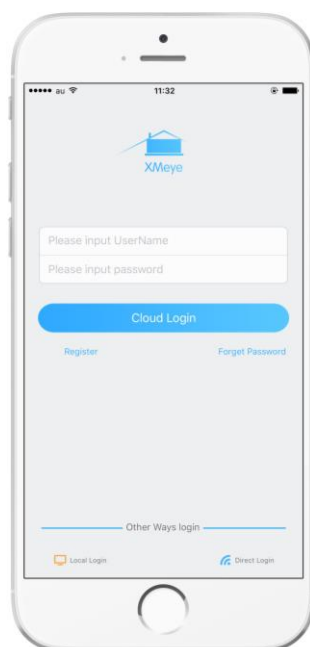


XMEye・CMS

【スマートフォン・パソコン】 第 1 版



作 成 者	日本エレコ株式会社
作 成 日	2017 年 11 月
最終更新日	2017 年 11 月

目次

XMEye・CMS	1
目次	2
【XMEye】スマートフォン	
1. XMEye インストール	3
2. XMEye 起動	3
3. デバイス登録	5
4. モニタリング	6
5. 録画データの再生	8
【CMS】パソコン	
6. CMS インストール	9
7. CMS 起動	11
8. カメラ（DVR）を登録	12
9. モニタリング	14
10 録画データの再生	16
11. DVR の設定	19

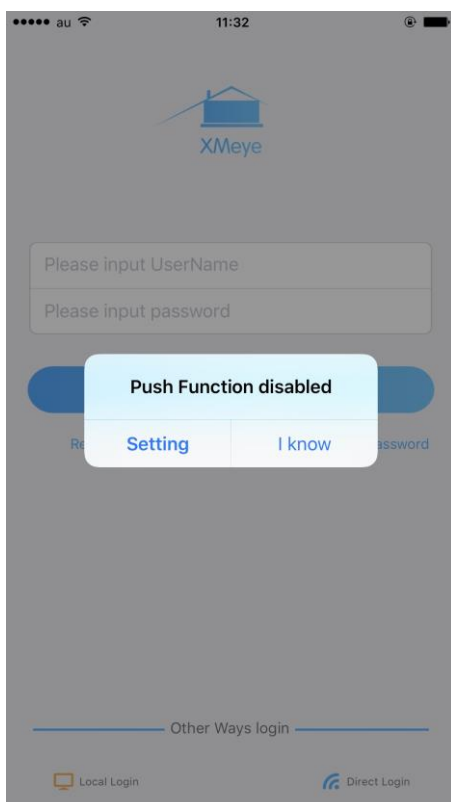
1. XMEye インストール

iPhone は App Store、Android は Google Play を開き、XMEye を検索します。
XMEye が見つかったらインストールします。XMEye のインストールは無料です。



【XMEye アイコン】

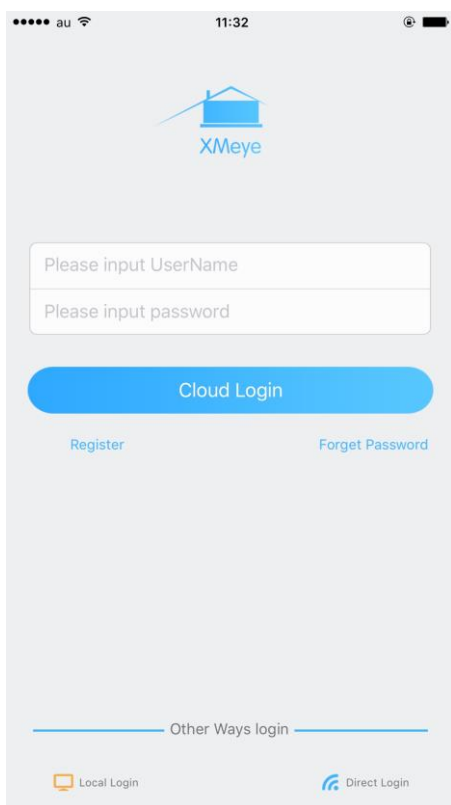
2. XMEye 起動



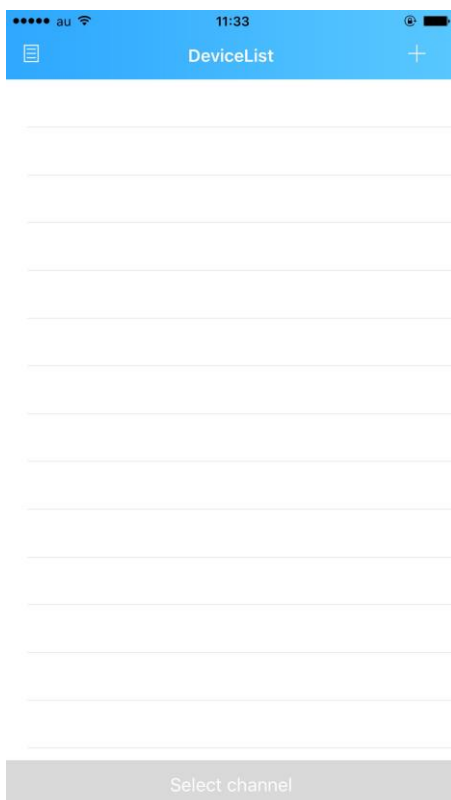
インストールが完了したら XMEye を起動します。
最初に Setting か I know を聞かれるので、I know を
タップします。

Setting をタップすると通知許可やアクセス許可の
設定画面へ移動します (iPhone)。

※予め、DVR のネットワーク設定が必須となります。
DVR がインターネットに接続されていることを確認して
から作業を進めてください。

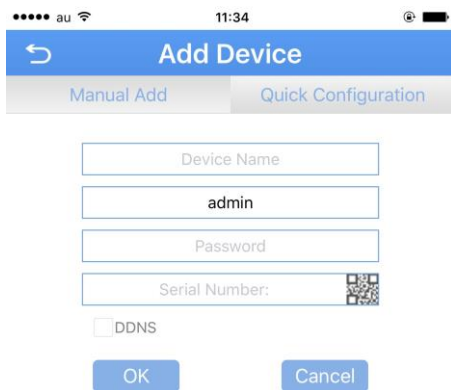


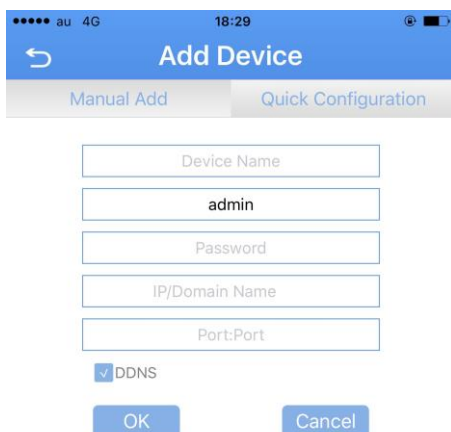
続いて左下の Local Login をタップします。



DeviceList が表示されるので、右上の+をタップします。
デバイス登録画面に進みます。

3. デバイス登録






【クラウド接続】

Device Name に任意の名前を入力します。

admin の欄は DVR のユーザー名です。ユーザー名を変更していない場合は、パスワード入力に進みます。

Password には DVR のパスワードを入力します。
初期設定のままの方は何も入力しないでください。

Serial Number には DVR のシリアル番号を入力します。
QR コードをタップするとカメラが起動し、QR コードの読み取りができます。
その場合は DVR 側でシリアル番号の QR コードを表示してください。
※QR コードの読み取りにはカメラへのアクセス許可が必要となります（iPhone）。

最後に OK をタップして登録完了です。

【DDNS 接続】

OK の上にある DDNS にチェックマークを入れます。

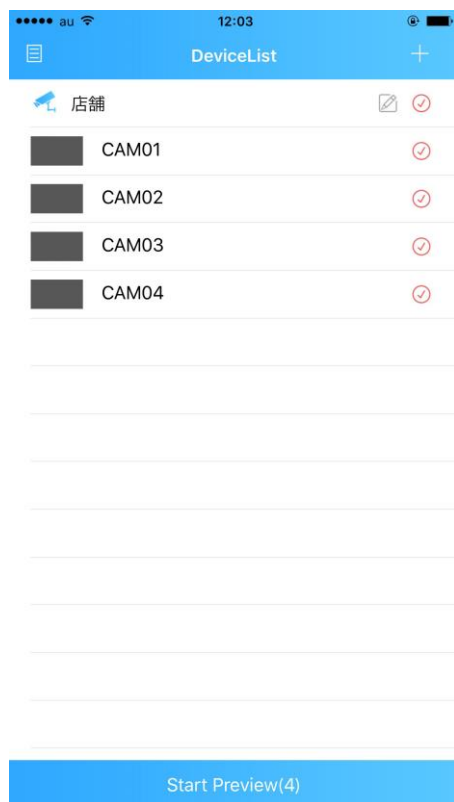
Device Name、admin の欄、Password はクラウド接続同様、DVR の情報を入力します。

IP/Domain Name にはグローバル IP アドレス、もしくはドメインを入力します。

DVR で設定しているメディアポートを入力し、OK をタップすると入力完了です。

※DVR と同じローカル内ですとモニタリングはできないので、Wi-Fi 設定に注意してください。

4. モニタリング



デバイス登録が完了すると、DeviceList に登録した DVR が表示されます。

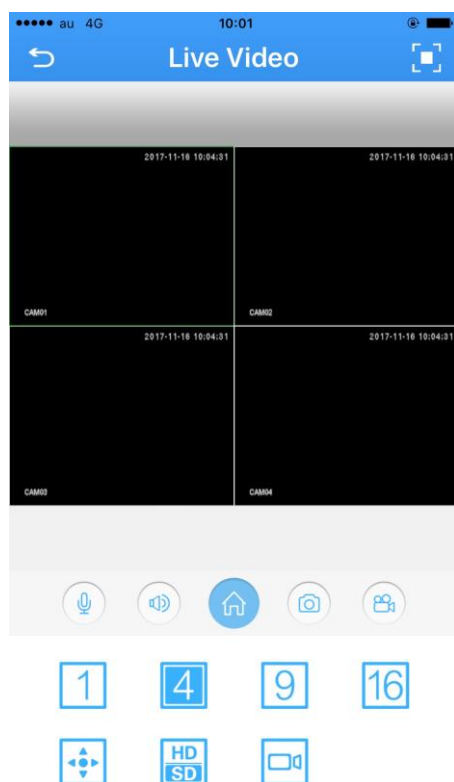
左の画面では Device Name を店舗にして登録しています。

店舗の左側のカメラのアイコンが水色ならモニタリングできる状態です。

アイコンがグレーならモニタリングができない状態です。接続情報を確認してください。

右のチェックマークをタップし、見たいチャンネルのチェックマークが赤色になっていることを確認します。グレーの場合は未選択状態となります。タップすることで選択状態が変化します。

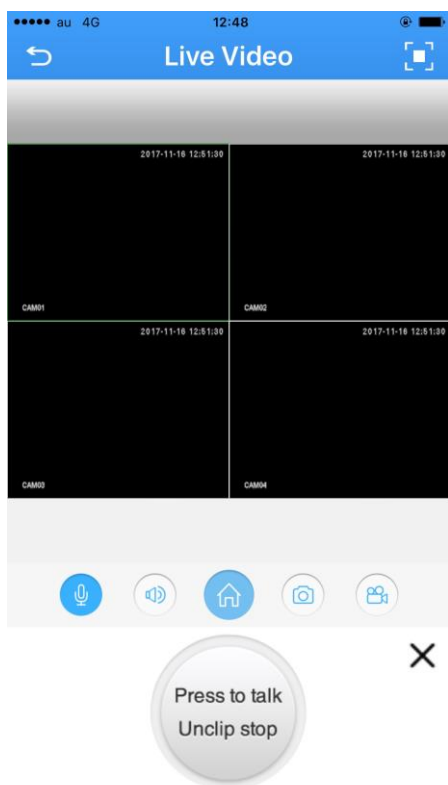
チャンネル選択後、下部の Start Preview をタップするとモニタリングを開始します。



モニタリングは Live Video で行います。

映像を大きくしたいチャンネルの画面を 2 回タップすることで全画面表示にすることができます。

	戻る
	横向き表示
	マイク接続
	音声の ON/OFF
	メニュー表示
	スナップショット
	端末の容量を使って録画
	画面表示の切替
	PTZ コントロール
	画質切替（全画面表示のみ有効）
	DVR の録画データを再生



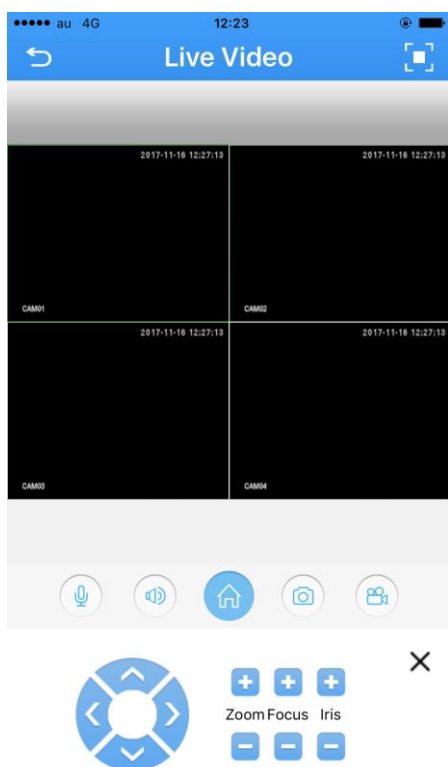
マイクに接続することでアプリを通して話しかけることができます。

話しかけるときは下部の Press to talk Unclip stop を長押しします（話している間ずっと長押し）。

Press to talk Unclip stop を押さないと話しかけることはできません。

マイク機能を使うときは DVR とモニターを HDMI ケーブルで接続するか、DVR にスピーカーを接続する必要があります。

DVR にマイクを接続することで相互通話が可能です。



PTZ コントロールをタップすることでカメラの操作が可能になります。

十字キーで上下左右の操作、Zoom でカメラのズーム、Focus でカメラの焦点を変更します。

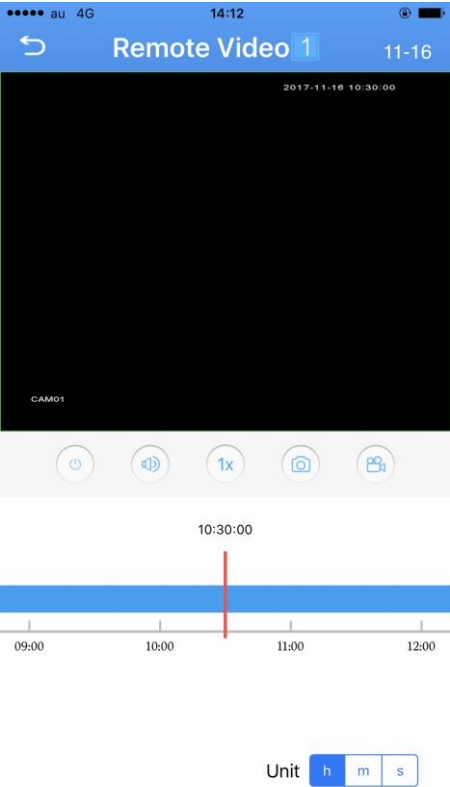
Iris はカメラの設定変更を行うことができますが、上手く動作しない場合があります（UTC 機能必須）。

PTZ コントロールはカメラの機能により操作できる部分が限られます。

パンチルト機能やズーム機能を搭載していないカメラは、操作できません。

接続状態により、操作できないことがあります。

5. 録画データの再生

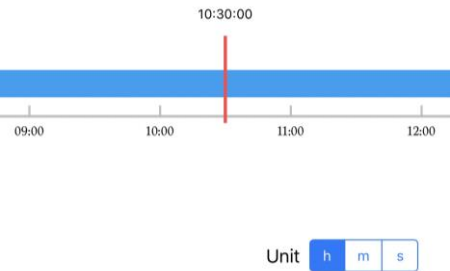


Live Video 画面で右下のアイコン  をタップすると Remote Video（再生画面）が表示されます。

	再生停止
	音声の ON/OFF
	倍速切替
	スナップショット
	端末の容量を使って録画



Remote Video 右上の 11-6（日付により異なる）をタップすることで再生した日付を選択できます。



アイコンの下にあるメモリバーは時間表記になっており、スライドさせることで時間の変更ができます。
右下の Unit（h、m、s）をタップすると、メモリ時間が 1 時間、10 分、10 秒に切り替わります。

6. CMS インストール

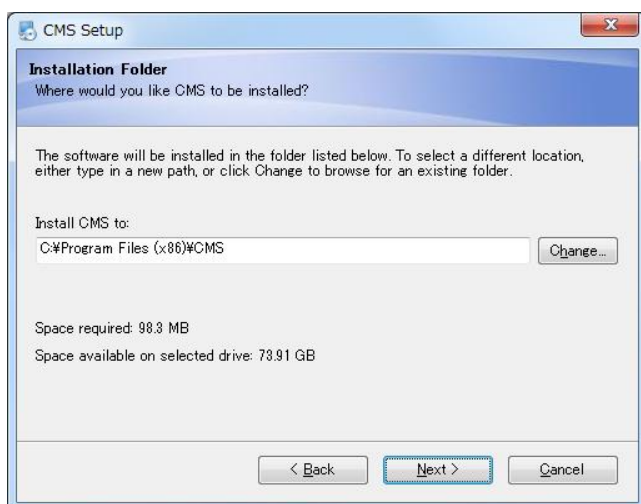
DVR に付属されている CD-ROM から CMS をインストールします。
CD-ROM 中の Software→CMS と入り exe ファイルを実行します。



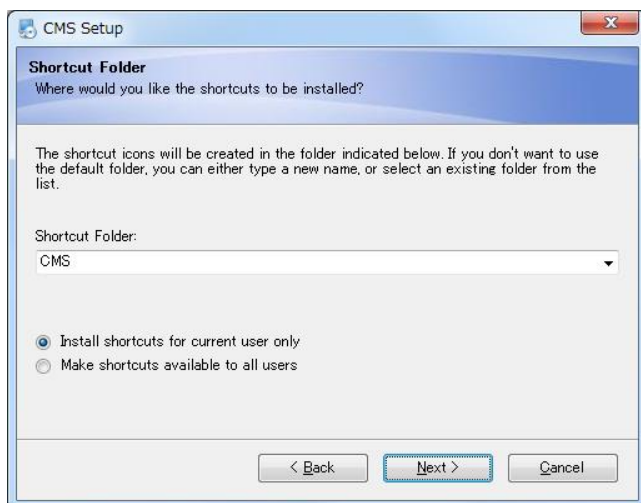
English を選択し Next>をクリックします。



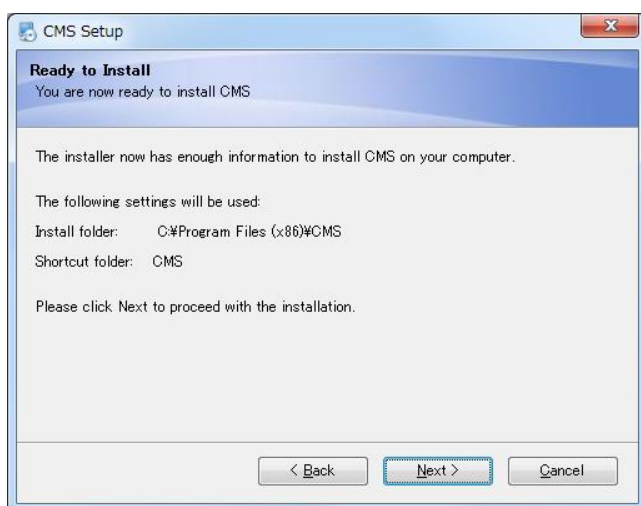
Next>をクリックします。



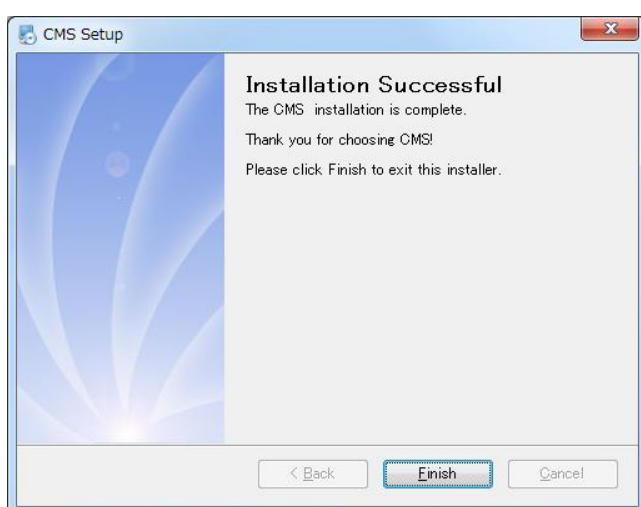
インストール先のフォルダを決定します。
変更する場合は Change をクリックして
インストールするフォルダを決定します。
インストール先フォルダが決まったら Next>
をクリックします。



ショートカットフォルダを選択します。
そのまま Next>をクリックします。



Next>をクリックします。



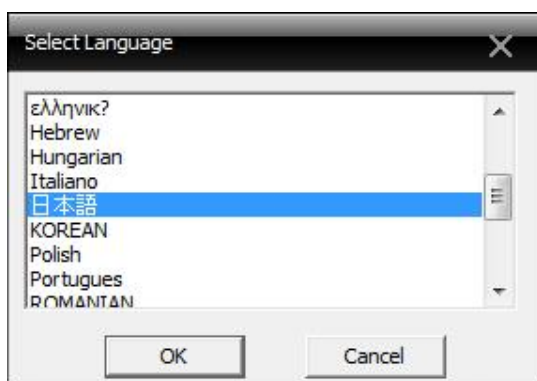
Finish をクリックして完了です。
自動的に CMS を起動します。

【CMS アイコン】



7. CMS 起動

初めて CMS を起動する際、まず言語を選択します。日本語を選択し、OK をクリックします。
ログインメニューは何も変更せずにそのままログインをクリックします。
2 回目以降の CMS 起動はログイン画面から始まります。



ログインをすると CMS が開きます。



8. カメラ（DVR）を登録



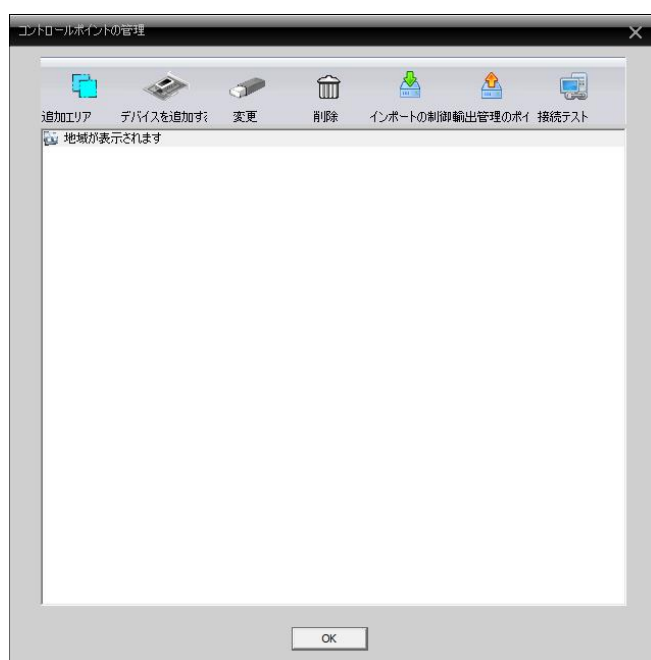
CMS を開いたら画面右下のシステム設定をクリックします。

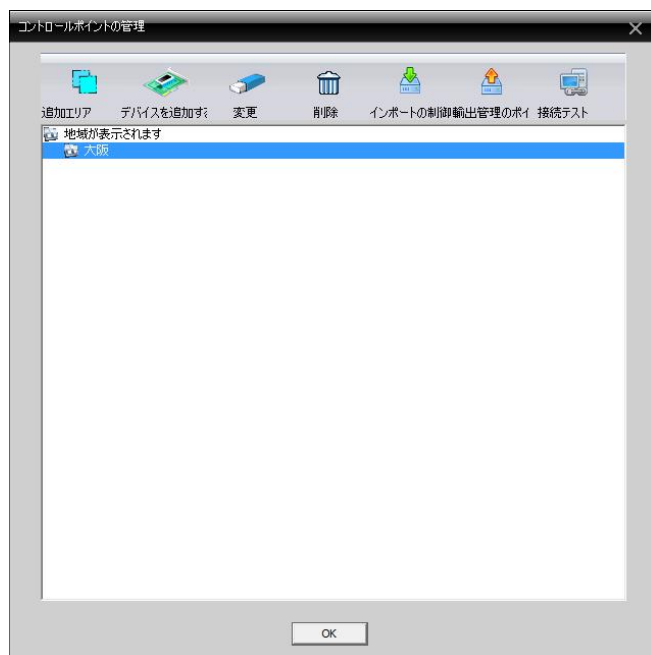
続いて、右側中段に表示されるコントロールポイントの管理をクリックします。

コントロールポイントの管理をクリックすると下記画面が表示されます。

左上の追加エリアをクリックして地域（任意の名前を設定可能）を登録します。

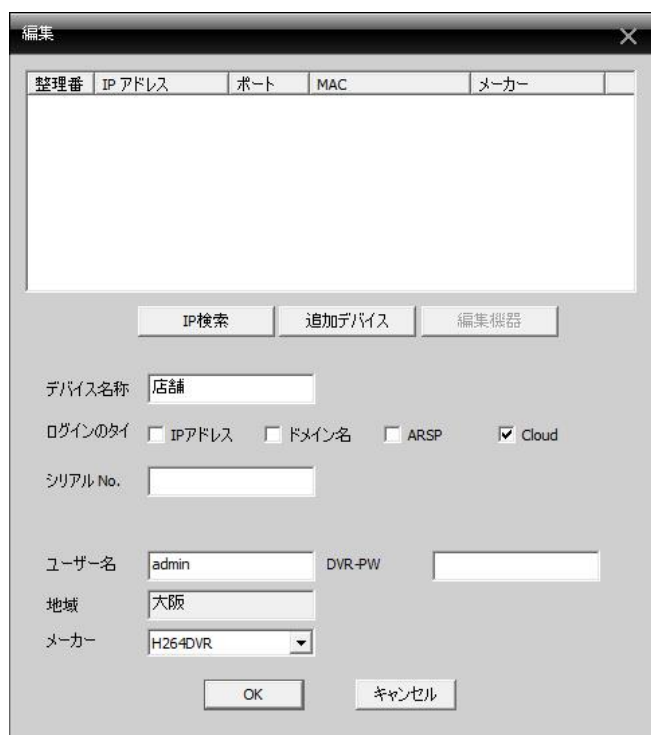
地域（任意の名前）を入力し、OK をクリックします。スーパーリア領域には入力しません。





追加エリアで地域の追加が完了したら、地域を選択してデバイスを追加するをクリックします。

デバイスを追加するをクリックするとデバイス登録画面が開くので、そこでDVR の情報を登録します。



デバイス名称には任意の名前を入力します。ログインのタイプはクラウド接続の場合はCloud にチェックマークを入れます。

シリアル No. には DVR のシリアルナンバーを入力します。

ユーザー名には DVR のユーザー名、DVR-PW には DVR のパスワードを入力します。

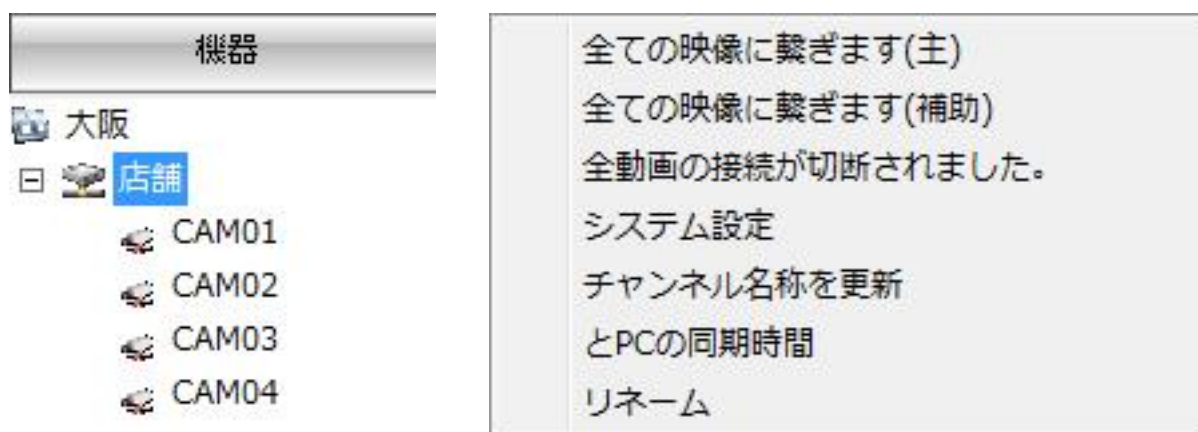
最後にメーカーが H264DVR になっているのを確認し、OK をクリックします。

DDNS 接続の場合は、ログインのタイプでドメイン名にチェックマークを入れます。シリアル No. の欄がドメイン名に代わるのでドメインを入力し、ポート番号の入力欄が追加されるので、DVR のメディアポートのポート番号を入力します。

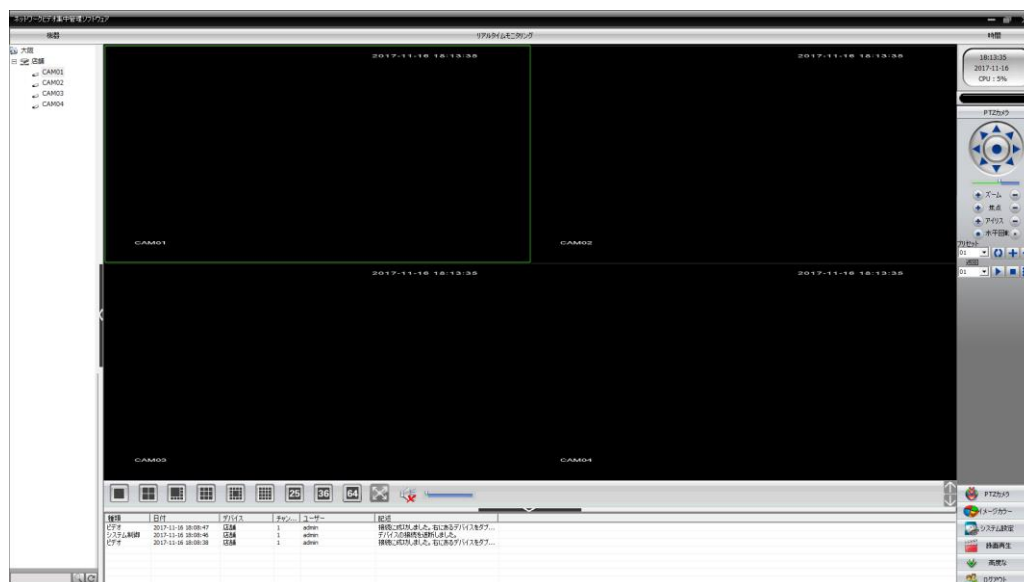
DDNS 接続の場合、DVR とモニタリングするパソコンが同じローカル内にあると、接続することはできません。

9. モニタリング

デバイス登録が完了すると画面の左側に登録したデバイス情報が表示されます。
 デバイス名をダブルクリックすると DVR のチャンネル (CAM 数字) が展開されます。
 展開されたチャンネル (CAM 数字) をダブルクリックするとモニタリングを開始します。
 デバイス名を右クリックすると下記右側のメニューが展開されます。
 全ての映像を繋ぎますをクリックすることで全チャンネルのモニタリングを開始します。



全画面表示したい映像をダブルクリックすると全画面表示に切り替わります。



	全画面表示、4 分割表示		8 分割表示、9 分割表示
	13 分割表示、16 分割表示		25 分割表示、36 分割表示
	64 分割表示		画面拡大
	音声 OFF/ON		ボリューム



右下のメニューから PTZ カメラをクリックすることでカメラの操作（旋回・ズーム）が可能になります。

PTZ コントロールはカメラの機能により操作できる部分が限られます。

パンチルト機能やズーム機能を搭載していないカメラは、操作できません。

接続状態により、操作できないことがあります。



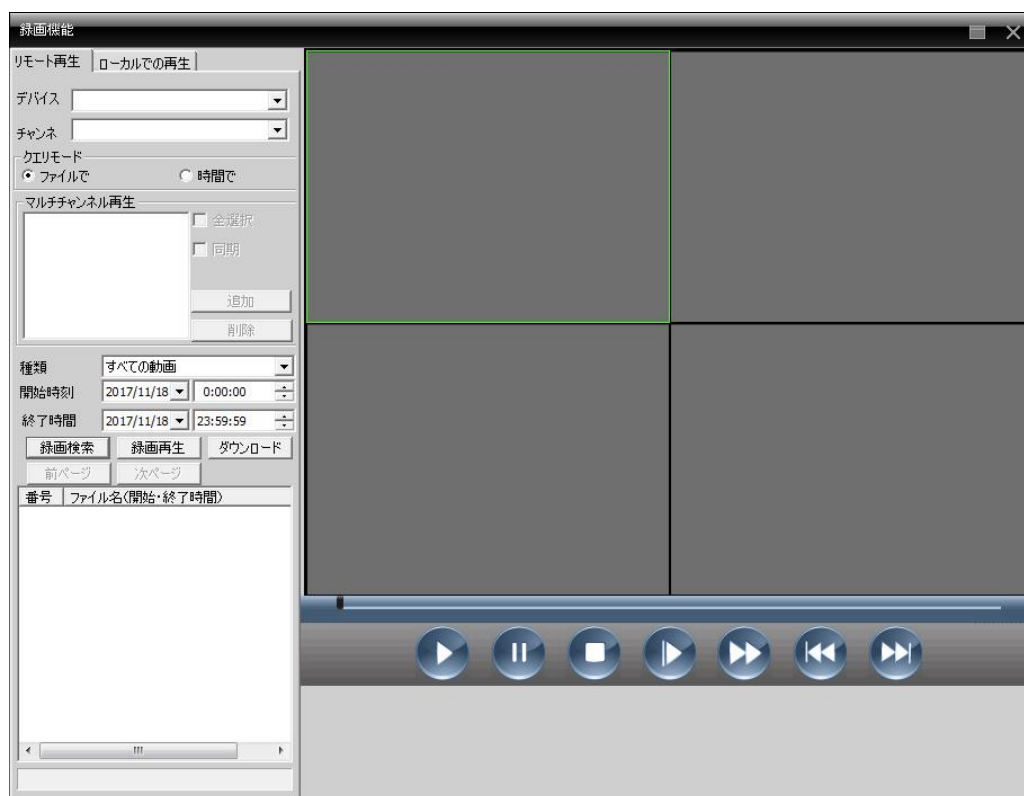
▲▶▼◀	旋回、移動
	速度調整
ズーム	ズーム
焦点	焦点変更
アイリス	設定変更、決定
水平回転	水平旋回
プリセット	プリセットポイントの設定
巡回	プリセットの起動

10 録画データの再生

デバイス名をダブルクリックして展開し、右下のメニューから録画再生をクリックします。



録画再生の画面が開いたら、再生したい録画データを検索します。



録画機能

リモート再生 | ローカルでの再生

デバイス

チャンネル

クエリモード
☐ ファイルで ☒ 時間で

マルチチャンネル再生

CAM1	☒ 全選択
CAM2	☐
CAM3	☒ 同期
CAM4	☐

追加
削除

種類

開始時刻

終了時間

録画検索 録画再生 ダウンロード

前ページ 次ページ

番号	ファイル名(開始・終了時間)
☒ 1	2017-11-17 00:00:00-23:59:59

デバイスに再生したいデバイス名を選択します。
 チャンネルには再生したいチャンネルを選択し、
 クエリモードは時間で選びます。

追加をクリックするとマルチチャンネル再生の欄
 にチャンネルが追加されます。

全てのチャンネルを再生したいときは、全選択に
 チェックマークを入れ追加をクリックします。
 このとき同期にチェックマークを入れると、全ての
 チャンネルを同じ時間軸で再生することができます。

種類から録画データの種類を選択し、開始時刻と
 終了時刻を決めます。

終了の日付を選択することはできません。

録画検索をクリックすると、ファイル名が追加さ
 れます。

左横の番号にチェックマークを入れ、録画再生を
 クリックすると再生が始まります。

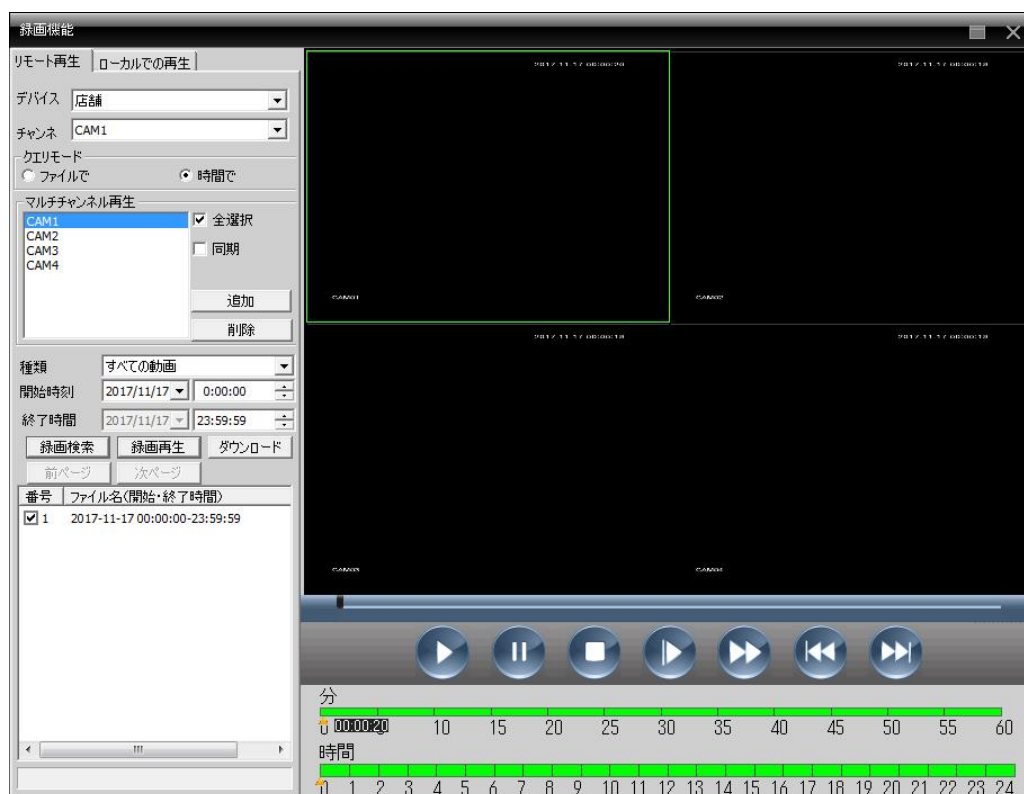
ダウンロードをクリックすると、選択したデー
 タのダウンロードを開始します。

ダウンロードするときのデータ時間は1時間以内
 を目安とし、チャンネル数は1チャンネルだけに
 にしてください。

※録画データがないときは再生できません。

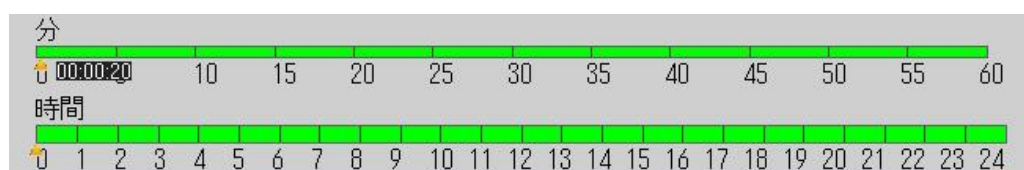
※再生の前に予め再生したいデバイスを展開して
 おく必要があります。

再生画面で大きくしたいチャンネルをダブルクリックすると、全画面表示に切り替わります。



	再生		一時停止
	停止		スロー
	早送り		使用しません。

分、時間のメモリとなっており、クリックすることでその時間の映像を再生します。



※録画データのない時間帯は再生できません。

11. DVR の設定

全ての映像に繋ぎます(主)
全ての映像に繋ぎます(補助)
全動画の接続が切断されました。
システム設定
チャンネル名称を更新 とPCの同期時間 リネーム

デバイスを展開した状態でデバイス名を右クリックします。
メニューが表示されるので、その中のシステム設定をクリックをします。

システム設定では DVR の設定を変更することができます。



日本エレコ株式会社
大阪府大阪市浪速区日本橋
5-12-4 GENESES ビル 1F
TEL 06-6536-8846
FAX 06-6536-8853